

シルバー 松山



No.121 新年号

共創イベント第1弾

歳神様を迎える伝承の儀

～門松づくりと餅つきの年迎え体験～



(一社) Generation Link
×
(公社) 松山市シルバー人材センター

もくじ

- P 2 年始のあいさつ
- P 3 祝 年男・年女
- P 4 我が家のペット自慢／頭の体操
- P 5 シルバーサロン清水町／きよみず句会
- P 6・7 設立40周年記念特集
- P 8 理事会の動き
- P 9 委員会・講習会・研修会だより
- P10 素敵な愛顔えがお
- P11 ふらっと寄り道
- P12 こちら事務局／編集後記



編集・発行
公益社団法人 松山市シルバー人材センター
所在地 松山市若草町 8-3
TEL 089-933-7373
FAX 089-933-0131
<https://m-silver.sakura.ne.jp/>
e-mail: matuyamasc@sjc.ne.jp

2026年1月発行

新春を迎えて

松山市シルバー人材センター理事長
高橋 祐二

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、ご健勝にて新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

コロナ禍以降、社会全体でデジタル化が加速し、当センターにおきましても積極的に各種対応を進めて参りました。

「フリーランス保護法」施行から1年が経過し、会員専用サービス「Smile to Smileサービス」を活用した就業条件明示書、及び配分金明細書等を電子提供とするなど、

会員の皆様に関連するデジタル化が一層進展しております。併せて、「誰一人取り残さない」デジタル化の実現を目指し、継続的にスマートフォン教室を開催するなど、包括的な支援にも注力しておりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年、当センターは設立40周年を迎えます。設立時354名の会員で発足しましたが、今や2千名を超える組織へと成長し、より一層地域社会の活性化へ貢献しており

ます。今後も「自主・自立・共働・共助」の基本理念の下、会員・役員・職員が丸となつて地域の期待に応えるべく、さらなる組織基盤の強化に努めて参る所存です。

結びに、今年の干支「丙午」は、40周年に相応しく、勢いとエネルギーに満ちて活動的になる年とされています。会員の皆様が当センター事業に積極的に参画され、素晴らしい1年となりますよう心からお祈りし、新年のご挨拶いたします。

新春を迎えて



松山市長

野志 克仁

明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げますとともに、日頃から就業を通して地域社会の活性化に貢献いただき、心から感謝を申し上げます。

松山市シルバー人材センターは、会員のニーズに沿って就業機会を提供するほか、いきいき仕事センターで、常用雇用を含め、総合的に就労を支援され、深く敬意を表します。

さて、今年の秋、松山市駅前広場が完成します。人々の往来と賑わいをつなぐ松山の交通・交流拠点として、中心市街地の一層の活性化につなげていきます。そうした中、様々な業種で人手が不足しており、社会の担い手として働く会員の皆様の役割は、ますます大きくなると考えています。

そこで、松山市では、高齢者就労の受け皿となる企業を確保するため、ハローワーク松山や経済団体と協力し、経営者に就労実態や

求人状況などの情報を提供いたします。

これからも、明るく活力ある地域社会の実現に向けて、高い見識や技能、そして豊かな経験を持つ高齢者の方と、積極的に連携していきたいと考えています。引き続き、お力添えをお願いします。

結びに、松山市シルバー人材センターのますますの御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を心からお祈りし、新年の挨拶とします。



祝 年男・年女

シルバー人材センターへ入会して17年、こんなに長くお世話になるとは思っていませんでした。今も松山シルバー主催のゴルフコンペに年2回出席させてもらい楽しんでいます。あと2年、85歳までは元気でありたいと思います。
伊賀 勝さん (84歳)

年女を迎えて心から嬉しく思います。今まで大きな病気もせず久米愛あいサロンでは皆様に囲まれ楽しく過ごすことができ幸せです。これからも健康に気をつけ元気で地域の方と過ごしていきたいと思います。
正岡 美保子さん (84歳)

気力・体力のあるうちに残りの人生を楽しみたいと思います。
中家 彰夫さん (84歳)

シルバーファースト
100歳までにまだ1周以上ある。負けてたまるか!!
大石 君政さん (84歳)

シルバー会員になり、会員さんとの出会いと今の仕事に感謝です。
水田 加代子さん (84歳)

私の活力の源は仕事にあります。この歳まで働かせていただき感謝しかありません。様々な刺激を受けながらもこれからの人生を明るく前向きに歩んでいこうと思っています。
道下 千尋さん (84歳)

孫たちの体力に負けないように足腰元気シルバー健康サロンとウォーキングで体力づくりし、これからの人生まだまだ楽しめます。
井上 克美さん (72歳)

一年間、健康で元気に楽しく、自分のお仕事を精一杯頑張ります!!
織田 美恵子さん (72歳)

落ち着いてケガなく他のメンバーと協力し合って仕事を頑張ります。
西原 浩二さん (72歳)

「日々是好日」の心がけで毎日に感謝!
藤田 啓二さん (72歳)

「我が家のペット自慢」では、会員の皆さんからの投稿をお待ちしています。ペットと一緒に写真を載せてみませんか？
詳細は事務局会報担当／矢野へお問い合わせください。



しゅうまい
(8歳)
男の子

僕も生後8年たちましたが、
先日中年太りと言われ、
少しダイエットするようと言われました。
でも、あの“ちゅーる”のおいさを
知ってしまったら、
なかなか我慢できないにやへ
水本弘子

眼鏡をかけている
警察犬のアレ (息子10歳)、
ループ (13歳父) はお父さん犬で
親子で仲よく過ごしています。

濱石静美



アレ (10歳)
男の子

ループ (13歳)
男の子

我が家のペット自慢

①	②		③	④		⑤	⑥
⑦						⑧	
			⑨				
⑩		⑪				⑫	
⑬			⑭		⑮		
		⑯					
⑰					⑱		

タテのカギ

- ①松山では俳句の道や平和通り沿いに多く並んでいる
- ②〇〇〇芋、〇〇〇揚げ、〇〇〇汁
- ③「水と〇〇〇」は決して混じり合わない関係のたとえ
- ④クレオパトラの鼻もこうだったとか
- ⑤青銅、真鍮など金属製の大きな円盤を打ち鳴らす楽器
- ⑥森林浴やサウナで身も心も〇〇〇〇〇〇
- ⑦「もう一杯」
- ⑧道後温泉別館『〇〇〇乃湯泉』
- ⑨「咎」「科」共通の読みは？
- ⑩日本酒造りの職人集団を統率する人
- ⑪「成功は〇〇〇〇に皆様方のおかげです」

頭の体操

カギを参考にマスを埋めて下さい。
黄色のマスの文字を並べ替えると
ある言葉になります。

【ヒント】

冬の幻想的な自然現象

ヨコのカギ

- ①硬い幹が無く、柔らかな植物一般の総称
- ③400年以上の歴史がある徳島県の伝統芸能
- ⑦薬味で味変が楽しめる名古屋の名物料理
- ⑧裸の女性。〇〇像
- ⑨ゴム、恋人、ともに〇〇〇
- ⑫遠視の人がかけるメガネは〇〇レンズ
- ⑬愛媛県と高知県にまたがる四国〇〇〇〇
- ⑮太陽も月も出る方向は同じくこちら側
- ⑯大晦日深夜から新年に向かって〇〇〇〇ダウン
- ⑰正岡子規を献身的に介護した妹の名前は？
- ⑱「〇〇を正す」は気持ちを引き締めること

正解者の中から抽選で
10名に粗品進呈

右の二次元コードからご応募下さい (令和8年2月28日必着)

※応募の個人情報は、粗品発送のみに使用
※正解はホームページで3月末に発表





リニューアルオープン 6周年を祝って

シルバーサロン清水町は、昨年の9月でリニューアルオープンから6年を迎えました。この間に、コロナの猛威で休館したり、施設内部の老朽化で備品交換や屋根修理などのトラブルを乗り越えたり、とにかくにも、通年週5日の教室を運営することができました。昨年の9月、10月には1カ月に三百数十名もの方にご利用いただき、多くにまで至っております。

これもひとえに利用者様の理解とご協力、スタッフの絶え間ない接遇があったからこそ



そだと、心から感謝申し上げます。

人口減少のなかで進む高齢化の状況にあつて、高齢者がおかれていられる立ち位置は様々な問題を含んでいます。

このサロンは、参加する高齢者一人ひとりが主体的に自分の役割や潜在的な力や可能性を見出し、それを仲間と一緒に活かすことと、新たな楽しみや生きがいを見いだす「場」の提供をめざしています。そしてそれぞれの「居場所」として活用いただくことを願って運営しております。

さらに、志のあるスタッフが年齢を越えて就労できる場所としても展開させてもらっています。

こうした目的でのシルバーサロン清水町を、今後とも、変わることなくご利用、ご活用いただきますようお願いいたします。

(サロンスタッフ一同)



12月

きよみず句会作品

(順不同)

小春海被写体探しうろうろと

小春日やお膝に抱っこグリとグラ

小春日やウォーキングへ出る準備

眼帯の中へ光の小春かな

小春空自転車軽く特売日

小春風笑ってすます物忘れ

釣り人の等間隔に小春かな

久びさに洋服買いに町小春

園小春一目散に象舎へと

小春日の杖持つ母と見舞う父

小春の日だまり微睡む幼な猫

小春日のすごいもの市リングゴ飴

ハイネの詩集閉ぢて小春のミルクティー

俳句入門教室「きよみず句会」は、毎月第2土曜日、

シルバーサロン清水町で開催しています。

興味がある方は、気軽にお問い合わせください。

くも

ひろこ

椿

花勝美

翠

千

のん

けい

千鳥

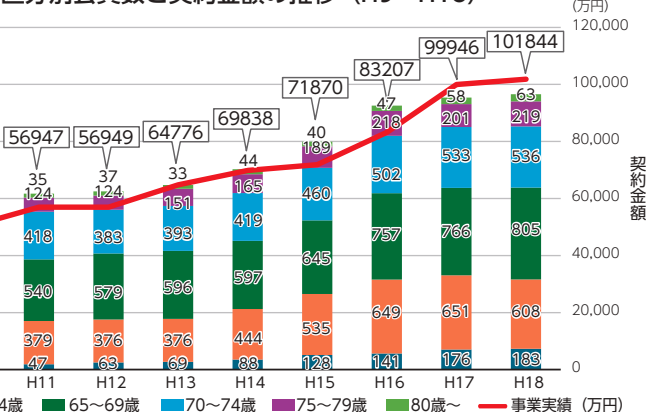
流水

じゅん

まる

竜胆

区分別会員数と契約金額の推移 (H9～H18)



◆会員数及び契約金額(受託事業)の推移
会員数はこの10年間で2倍の2414人、女性比率は42・3%と4割を超え、センター事業拡

ヒストリー
設立40周年記念特集
第二弾

松山市シルバー人材センター
設立40年のあゆみ
(H9～H18)

今号では、第二弾として設立11年から20年のあゆみを辿ってみましょう。

- ◆大きな出来事
- 一、H13年4月「介護保険事業」開始
 - 二、H13年6月「設立15周年記念式典」開催
 - 三、H16年11月「北条・中島福祉事務所」新設
 - 四、H17年1月市町村合併に伴う「北条支部・中島支部」開設
 - 五、H17年9月「一般労働者派遣事業」開始
 - 六、H18年11月「設立20周年記念大会」開催
- 新しい事業の開始や新しい事

センターのあゆみ

1997年から2006年 (H9年～ H18年)



フェスティバル
(年3月)



介護保険事業開始
(H13年4月)



子育て支援事業スタート
(H12年6月)



設立10周年記念
『シルバー松山』発刊
(H10年3月)



温もり喫茶開設
(H13年11月)



設立15周年記念式典・シルバーフォーラム開催
(H13年6月)



自動車運転適性診断講習会
(H11年3月)

がたい場所です。多くのイベン



センターは私
にとって「元氣
の源」であり、
人生で最もあり

No. 2 太鼓栄美子さん（H11年入会）

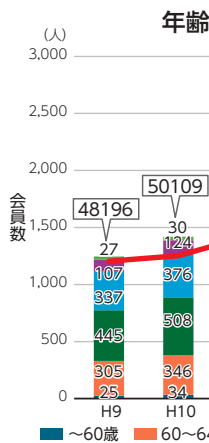
校で半年間学んだ剪定の仕事に落ち着き、約20年間携わることでできました。仕事以外でもゴルフサークルを立ち上げ、ゴルフ仲間に出会えるのも楽しみでした。センターは私の生きがいの場。仕事も趣味活動も、健康第



No. 1 松井正行さん (H10年入会)

入会当初は駐
車場管理の仕事
をしましたが、

平成9年～18年までにご入会された会員さんからのメッセージ



業所の開設など当センター拡充の時期となり、それに伴い、設立15周年・設立20周年の記念式典が盛大に開催されました。

員として青空の下楽しく農作業やイベントにいらしています。



No. 3 武智時子さん
(H15年入会)

早いもので入会して23年目を迎えています。入会当日に仕事

の紹介があり、その後様々な仕事に従事してきました。どの職場でも良いメンバーと出会えて今でも交流が続いています。現在は派遣事業や本部の仕事をしつつ「シルバーFarm平井」の一



北条市、中島町統合契約（H16年9月）



一般労働者派遣事業参入
松山実施事務所開設（H17年4月）



通常総会リメイクファッションショー
(H14年6月)



第2次中長期計画策定
(H14年3月)



シルバー健康
(H14)



設立20周年記念大会（H18年11月）



松山まつり野球拳踊り「シルバー連」参加（H15年8月）

写真で見る松山市シルバー人材

理事会の動き

令和7年度第4回理事会を開催

令和7年12月18日（木）に松山市ハーモニープラザにおいて、第4回理事会を開催いたしました。

各議案の内容は次のとおり。

●議案審議

■第1号議案「第6次中・長期計画の内容について」

12月9日（火）に開催された「第5回中・長期計画策定検討委員会」において、本計画の内容が具現化してきたため、基本視点である3点、

- (1)数値目標
- (2)経営方針と行動指針
- (3)BCP

について確認・協議。また、本計画のコンセプトとして「共生」「共育」「共創」を掲げ、地域と連携しながら、高齢者の社会参加を総合的に推進していくことを確認し、決議。

■第2号議案「設立40周年記念事業の実施について」

当センターが、令和8年に設立40周年を迎えるにあたり、

(1)記念事業の実施内容

(2)実施計画

(3)予算計画

の3点について協議。現時点での計画として、40周年記念式典を令和8年10月に開催（予定）、AIを活用したホームページリニューアル、SNSを活用した広報戦略、予算計画等について決議。

■第3号議案「令和7年度収支補正予算（案）について」

(1)金融機関の利上げに伴う預金利息収益の計上

(2)公用車両の交通事故被害による保険金の受け取り、及び賃貸物件に関する火災保険料中途解約の精算戻し入れに伴う収支の計上

(3)新規賛助会員登録（予定含む、2社）に伴う収支の計上

(4)法人会計配賦分の中退共加入対象職員増による費用の計上

以上の4項目の補正予算案について決議。

●報告事項

定款第24条第5項に基づく職務の執行状況報告、事業運営会議報告、及び事務局報告を実施。11月末時点正会員数2121名（前年同月比、15名減）。10月末現在の契約金額6億277万（前年同月比103・8%）



地方奨励賞を受賞しました

松山市シルバー人材センターによる「農で集うシルバーパワー」が今後の活躍が期待できる取り組みを行っている団体として、中国四国農政局「デイスカバー農山漁村の宝」地方奨励賞に選定されました。

12月23日（火）には、松山市ハーモニープラザで、農政局愛媛県拠点の須田地方参事官より大野副理事長へ表彰状が授与され、その後、記念撮影や職員の皆さんとセンターとの意見交換が行われました。



委員会・講習会・研修会だより

●安全・適正就業委員会

10月15日(水)に第3期「安全・

適正就業委員会」を開催。第2四半期の事故発生状況とモラル欠如事案、安全巡回指導結果報告、ドライバーズセミナーの参加報告、シルバー会員就業支援事業の進捗状況について議論しました。

●正会員の活動の在り方等検討委員会

10月31日(金)、第3回「正会

員の活動の在り方等検討委員会」を開催。会議では、就業ルール作成に係る課題の洗い出し、地域の期待とセンター事業とのギャップ、会員さんの意識調査結果、認知症と就業ルールについて議論しました。

■営業推進実行委員会

12月3日(水)に開催した第

3回「営業推進実行委員会」では、令和7年度の派遣事業、職業紹介事業の実績報告(R7・4(R7・10)があり、派遣事業では、前年対比107・5%、就業延べ日数ベースで101%、職業紹介事業は、就職人数29人(前年31人)と概ね前年並みの実績で推移している旨の報告がありました。

続いて、派遣先巡回の予定、求人開拓に関する営業活動の実施状況、最低賃金の改正に伴う契約の変更及び校務員代員業務において発生した労働災害の概要及び対応状況について報告がありました。

そのほか、シルバー派遣事業に関連する法改正(ストレスチェックの義務化・日本版DBSの導入・雇用保険等の適用拡大)に関する説明とキャリアアップ講習、派遣研修会等の開催予定について報告がありました。

●第5回 第6次中・長期計画策定検討委員会

12月9日(火) 第5回「第6

次中・長期計画策定検討委員会」を開催し協議を行いました。

第6次中・長期計画の作成にあたり、はじめに議案1として、計画策定の基本視点、計画期間と目標年度と本計画の策定フローについて協議し了承しました。

続いて、議案2として、センターの現状と外部環境の把握について協議し、センターの将来像と計画目標について了承しました。最後に、議案3具体的施策として、会員の増強、就業機会確保、会員の健康増進、介護保険について協議し了承しました。次回、第6回の委員会を引き続き協議することとしました。



▲松山記念病院巡回指導



▲ドライバーズセミナー
会員・職員20名参加





シルバー普及啓発月間特集

毎年10月はシルバー人材センター事業普及啓発月間です。シルバー事業をより多くの方に知っていただくため、全国のシルバー人材センターでボランティア活動や地域のイベント参加など、普及啓発活動を展開しています。

1. eスポーツ体験会開催

11月9日にデジタルに楽しく触れていただく機会として「eスポーツ体験会」を普及啓発の一環で実施しました。内容は、



「太鼓の達人」「ぷよぷよ」「脳体力測定」「モーシヨンセンサーゲーム」を実施。デジタル会員さんにインストラクターとして協力いただきました。

参加者からは、「太鼓を叩く動作が楽しくて、音楽に合わせて手を動かすので、自然と腕や肩の運動になる。リズムに乗ると気分も明るくなるし、孫と一緒に遊んでみたい」という感想が寄せられました。



2. シルバーFarm平井

「サツマイモ収穫体験」

11月3日、シルバー人材センター事業の普及啓発の一環とし

て、シルバーFarm平井で「サツマイモ収穫体験」を開催しました。当初10月の予定が天候不順により11月に変更になりましたが、当日は晴天に恵まれ、参加者、会員スタッフ、職員、子どもさん12名を含む、総勢40名が参加しました。畑に広がる、紅はるかのかのつるを引き、土の中から大きなサツマイモが顔を出すと、子どもたちから歓声があがりました。初めて収穫



を体験する子どもさんも多く、「こんな大きいのが掘れた!」と笑顔がいっぱいで、サポートする農園の会員さんたちにとっても楽しい時間となりました。

3. すごいもの博2025出展

11月15日・16日の2日間、シルバーFarm平井が「えひめ・まつやま産業まつりすごいもの博2025軽トラ市」に出展しました。秋の味覚、サツマイモ「紅はるか」をテーマに、トラックの荷台を活用したユニークなマルシェを展開し、来場者に食の楽しさを提供し、賑わいました。



▲落花生、紅はるかや芋ようかん、大学いもなど大人気!!

連載
03

道後温泉界隈（その1）

日本最古の湯といわれる道後温泉と街を巡ってみる。

現在の道後温泉駅は、明治時代に建てられた旧駅舎を昭和61年に復元したものの。駅広場には「坊っちゃん列車」が展示しており、明治の趣を感じさせてくれる。



おもむき

①伊予鉄道 道後温泉駅と坊っちゃん列車



①伊予鉄道 道後温泉駅と坊っちゃん列車

駅目の前は道後商店街（道後ハイカラ通り）の入り口で、その東側に放生園がある。

ここには、道後温泉のシンボル

②道後商店街と放生園

「湯釜」から湯が注がれる足湯、
坊っちゃんカラクリ時計が整備さ
れている。

商店街は北へ真つ直ぐ160m
進み、そこで直角に右に曲がり東
へ80m続く。その先には「道後温
泉本館」がある。アーケード街は
明るく活気があり国内外の観光客
で溢れていた。

昼時のすきつ腹！ 甘辛い醬油の香りに誘われて「ぬれおかき」を買った。

少し後戻りするが、商店街の曲がり角の直ぐ北西方には、多くの松山市民に長く親しまれ利用されてきた蔵屋敷風の「椿の湯」がある。その西側には、平成29年10月

に飛鳥時代の建築様式を取り入れた道後温泉別館の「飛鳥乃湯泉」が新設されている。



③ 椿の湯




④飛鳥乃湯泉

道後温泉本館は道後のシンボルだ！ 木造三層楼で塔屋（振鷺閣）を設けている。

一階には男女別に神の湯と霊たまの湯、二階は神の湯と霊の湯の休憩室になっている。三階は霊の湯の個室休憩室が8部屋ある。

三階屋根部の振鷺閣の四面は、赤色ギヤマンガラスの窓で囲まれ、電灯が灯った



本館又新殿・雲の湯棟



⑥赤いギヤマンガラス
が夕映えする振鷺閣と
伝説の白鷺



⑤道後温泉本館又新殿・霊の湯棟



朝と夕6時には6回、昼12時には12回の太鼓で刻を知らせている。

本館は平成6年に日本の公衆浴場として初めて国の重要文化財に指定され、また、振鷺閣と刻太鼓は「残したい日本の音風景100選」に選ばれている。

本館の東側には檜皮葺屋根の荘厳な「又新殿ゆうしんでん」がある。ここは日本唯一の皇室専用浴室として明治32年に建てられた。内部には玉座の間、御居間、御湯殿などがあり豪華な造りになっている。この湯殿は、飛鳥乃湯泉に再現された特別浴室で入浴体験ができる。

道後温泉は、全国的にも珍しい無加温・無加水の源泉かけ流しの温泉で肌に優しい。

最後に、本館南の小高い冠山かんむりやまにある「空の散歩道」を歩いて回り、湯神社ゆじんじゃにお参りして寄り道を終えた。

こちら事務局

世代をつなぐデジタル共創プロジェクト

当センターは、一般社団法人ジェネレーションリンク（以下「ジェネレーションリンク」という。）と「デジタルネクサス協定」を締結しました。

この協定は、長年の経験と知識を持つ高齢者と若い世代の豊かな発想と情報発信力を「デジタル」という手段で結びつけ、地域の課題を解決していく新たな挑戦です。

ジェネレーションリンクは、若手経営者3名が中心となり、立ち上げた、まちづくりに興味を持つ若者を支えるプラットフォーム的な団体です。若者がまちづくりに参加することで、地域に新しい視点や創造的な発想が取り入れられ、住民同士のつながりが深まり、町の活性化につながります。松山市では少子高齢化と若者の県外流出により地域の活力が低下しています。更に、若者は地

域活動の機会が乏しく、高齢者はデジタル活用に不慣れで、世代間の交流が少なくなることにより地域活動が衰退する課題を抱えています。この課題を解決するため、当センターは、ジェネレーションリンクと連携し、地域の高齢者の「知恵」と若者の「行動力」を融合し、地域社会の活性化を図り、会員さんの活躍の場を拡げます。

●用語解説

※1「ジェネレーション」

英語の「generation」に由来し、主に「世代」や「同世代の人々」を意味する。

※2「リンク」(link)

一般的には英語で、鎖（名詞）、連結する、関連付ける（ともに動詞）、といった意味

※3「ネクサス」(nexus)

物事や人々の間のつながりや結びつきを意味する英単語

【表紙の写真】

「共創イベント」第1弾として12月28日に「歳神様を迎える伝承の儀 門松づくりと餅つき」の年迎え体験を実施しました。これは、若者の発案で、正月の伝統行事を継承するため、昔は当たり前のように行われていた「門松づくり」、「餅つき」をイベントとして再現しました。

今後、高齢者の「経験」と「想い」を、若者の「感性」と「技術」で未来へとつなげていきます。

頭の体操・前回の答え

前回のシルバー松山「秋季号」に掲載した「頭の体操」の正解はモミジガリでした。ご応募いただきありがとうございます。ただきありがとうございます。厳正なる抽選の結果、正解者（21名）のうち左記の10名に粗品を進呈します。

URL <https://m-silver.sakura.ne.jp/>

①ボ	②ヘ	③ミ	④ア	⑤ン	⑥フ	⑦リ
⑧ツ	⑨ノ	⑩コ	⑪ン	⑫プ	⑬タ	⑭ア
⑮ヘ	⑯リ	⑰ヨ	⑱コ	⑲リ	⑳ツ	㉑ス
㉒ア	㉓ノ	㉔ヨ	㉕コ	㉖リ	㉗ツ	㉘ス
㉙ヘ	㉚モ	㉛ク	㉜ハ	㉝ン	㉞ト	㉟ガ
㊱カ	㊲ヘ	㊳イ	㊴セ	㊵ト	㊶ア	㊷ク
㊸ジ	㊹ン	㊺ク	㊻ス	㊼ア	㊽ブ	

【当選者（敬称略）】

藤原桂三、小野尚一、正岡秀一、清水早苗、和田吉照、名樂晴美、福岡秀子、土居通康、福山みどり、伊藤整郎

編集後記

今年は、サッカーワールドカップ・冬季オリンピック・WBCなど世界大会が目白押しで、新たなスーパースターが誕生するのではとワクワクしています。そして、もう一つのワクワクが、当センターの設立40周年です。昭和62年10月に事務局を開設してから40年、人であれば一番脂の乗り切った年齢ではないでしょうか。そんな中、記念事業等の準備にも取り掛かり始めましたので、会員の皆様のご協力をお願いします。

また、今年の干支は丙午（ひのえ・うま）です。情熱と推進力にあふれ、大きな飛躍や成長のチャンスをもたらす年とされています。40周年に相応しい干支だと思しますので、この40周年を好機に、会員さんと事務局の絆をより一層深め、これまで以上にシルバー人材センターを盛り上げていきましょう。